



グローバル サステナビリティに向けて 化学産業が共有するリオ+20ビジョン

化学産業は、化学物質のライフサイクルを通しての安全かつ責任ある持続可能な管理を行いながら、革新的な技術と製品を開発することによってより持続可能な社会に大きな貢献をしています。

国際化学工業協会協議会(ICCA)は、1992年のリオ地球サミットに先んじてサステナビリティ(sustainability)の世界的な活動に積極的に参加するとともに、安全な化学物質管理を推進するためその後の政府間の取組みにおいて重要な役割を果たしてきました。

化学産業は、ストックホルム、ロッテルダムやバーゼル条約のような化学物質管理の国際的なプログラムに貢献し、国連環境計画(UNEP)による国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ(SAICM)のようなマルチステークホルダー パートナースhipに積極的に参加しています。

グリーン経済へのロードマップ

新しい製品と技術の開発と展開は、グリーン経済への移行を確実にするうえで不可欠であり、これにより社会は世界の人口の増加につれての乏しい資源の最適な

使用ができます。政策枠組は、これらの製品と技術の開発、生産及び普及を促進しなくてはなりません。化学は、ほとんどすべての製造セクターに関係しています。実際、生産されるすべての製品の96%は化学に依存しています。化学における種々の革新は、風力や太陽光のような再生可能エネルギーの使用を可能にし、同様にビルディング、輸送

や産業セクターのエネルギー効率性を高めるために不可欠です。化学品の貢献によって削減された温暖化ガスは、その生産プロセスで発生する排出量の2倍以上です。この比率は2030年までに4対1に増加すると予想されています。



RIO+20

化学品の安全な管理

化学産業は、化学品の安全な生産、使用及び廃棄を確実にすることを約束しています。グローバル レスポンシブル ケア イニシアティブとグローバル プロダクト戦略(GPS)を通して、世界的な化学品の安全管理を促進するSAICMゴールの達成に向けて非常に重要な貢献をしています。

SAICMは著しく前進しましたが、なすべき多くの課題が残っています。それ故、リオ+20は2020年ゴールに向けてのSAICMの進展の評価と更なる進展の促進に集中すべきです。SAICMの構築と強化のために、ICCAはUNEPとパートナーシップを結び、特にアフリカや中国の途上地域においてキャパシティー・ビルディング活動を進めています。さらにICCAとUNEPは協力して、化学品管理システムを如何に強化し調和させるかについて政府向けのガイダンスを作成しています。

ミレニアム ディベラップメント ゴールズ

貧困根絶とパブリックヘルスの改善のゴールに関して、化学産業は非常に大きな貢献をしています。世界の飢餓は、農業生産の増加、食物劣化の減少及び食物安全性の向上のための環境に優しい化学肥料、植物保護製品及び食物包装材の開発を通して軽減されます。

化学産業は、社会的かつ環境的な改善を原則として世界中で2,000万人の直接・間接の雇用を維持する経済成長を可能にしています。医学の大きな進歩は化学によって可能になり、伝染病や慢性病の有効な予防と治療ができ人々のより長寿より健康な生活を可能にしています。同様に、飲料水の浄化も水浄化システムや水輸送技術における化学品の使用により改善されています。

世界の化学産業

ICCAは、世界の化学産業の声であり、2011年3,000 billionユーロに近い総売上高を有するセクターです。ICCA会員（オブザーバーとレスポンシブル ケア会員を含む）で世界の化学品の総売上高の90%以上を占めています。ICCAは、レスポンシブル ケアとGPSの促進や国際的な気候関連交渉の進展などの重要な課題に注力しています。

レスポンシブル ケア イニシアティブ

レスポンシブル ケアは、下記の世界の化学産業の公約です：

- ◆ 地域社会対話と非常時対応を通しての環境、健康と安全(EH&S)活動の継続的な改善を進める；従業員の健康と安全；プロセス安全；汚染防止；輸送安全；製品安全と安心
- ◆ サプライチェーンを通しての化学品の効果的な管理
- ◆ EH&Sの標準と実施の世界的な調和の改善
- ◆ ステークホルダーとのオープンなかつ透明性のあるコミュニケーションの維持
- ◆ 実行指標と検証方法のより厳密なシステムの使用

50以上の国・地域の協会と90%以上の世界の化学大企業が、レスポンシブル ケア世界憲章にサインしてこれらの公約を更新し延長しました。

グローバル プロダクト戦略

グローバル プロダクト戦略(GPS)は、下記の世界の化学産業の公約です：

- ◆ 上市されている化学品の意図的使用の安全性を評価するに十分な「ベースセット情報」の実施
- ◆ 企業間の安全性評価関係情報の共有
- ◆ 上市の化学品のリスク評価と適切なリスク管理行動の確認のための段階的プロセス(Tiered Process)の促進及びこれらの安全な使用条件についてサプライチェーンパートナーとの協働
- ◆ 企業パフォーマンスの測定・評価と公共への結果報告
- ◆ 川下顧客とのプロダクトステewardシップ協力の改善
- ◆ プロダクトステewardシップを促進するため政府間組織やその他との協力の維持・支援
- ◆ 顧客、公衆とその他のステークホルダーとの対話とアウトリーチの促進
- ◆ 化学品安全性評価の科学と実践を改善するための基礎研究の実施

GPSは、先進国での法律モデルとして、また途上地域での新しい政策策定のためのベストな実施例と基本となります。透明性を促進するために、ICCAはウェブにGPSポータルを開設しました。このポータルは無償であり、興味をお持ちのすべてのステークホルダーが化学品安全性情報にアクセスできます。

ICCAに関するより詳しい情報は、www.icca-chem.orgをご覧ください。

